01. 職人と地域の現状

知られていない。だから、選ばれない。

地域には、確かな技術をもった職人たちがいます。 でも今、その存在が"見えなくなって"きています。

家の困りごとを、 誰に相談すればいいか 迷ってしまう、わからない

何となくホームセンターや 大手リフォーム店に 相談する

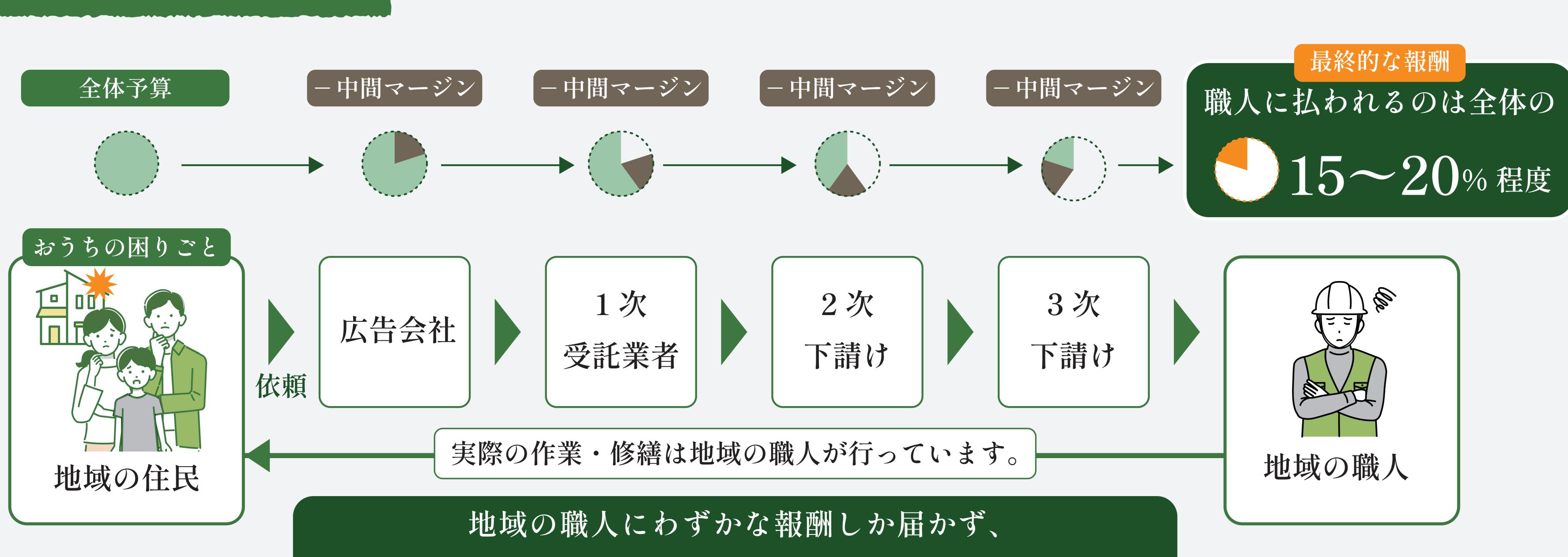


実は地元の職人が 仕事をしているけど、 お客さん側には見えづらい。



地域の職人さんが暮らしの近くにいるのに、 直接選べる選択肢を知られていないのが現状です。

現在の取引の流れ(例)



支払額に見合うサービスが実現できない状況になることも。

02. リクラが目指す職人と地域の関係

"困った"ときに、

頼れる人の顔を知っている。

窓・ドア・屋根・水道・塗装・庭づくり…。 ちょっとした「困った」を気軽に 相談できる相手がいない。

"ちょっと困った"に応えてくれる人は、すぐそばにいます。

身近にいる一宮の職人さん









吉田塗装





大中環境

Harinezumi

専門的なお困りごと じゃなくても、直接 信頼する職人・企業を 紹介することも。

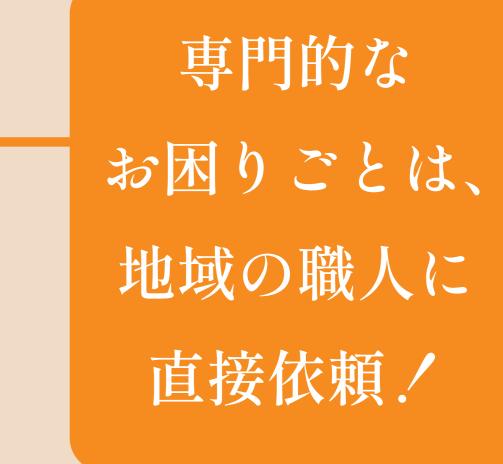
リクラが提案する新たな選択肢

RE: CRAFT DAY





出会う、体験する、相談する。 →顔見知りに。





地域の職人・企業に直接依頼できる関係性があることで、 顔が見える関係性の職人に適正な価格の施工を受けられる。 03. RE:CRAFT DAY とは?

あの人に相談したいが 生まれる目。

RE:CRAFT DAY は、地域の職人と住民が直接出会い、 "暮らしの困った"をきっかけに、つながる1日です。 技術や人柄に触れ、「またお願いしたい」と思える関係を、 まちの中に少しずつ育てていきます。



"1 目限りのイベント" ではなく、関係性が つながりつづける 起点です。

RE:CRAFT DAY が生み出している変化。

"またお願いしたい"と言われて、 職人 仕事への向き合い方が変わった。

"かっこいい""やってみたい"が、 将来の選択肢になる。

来場者

"誰に頼めばいい?"に、 地域の中で答えが見つかる。

地域

困りごとを地域で解決する、 新しい循環が始まる。

こうした取り組みや変化の起点が、 他の地域にも伝わり、育まれることを目指しています。 04.RE:CRAFT DAY が描く未来

地域に、"頼れる人"がいる暮らしを、 当たり前にする。

相談が仕事になり、仕事が信頼に、信頼が次の仕事に 仕事がまた次の世代へとつながっていく。

RE:CRAFT DAY は、そんな「暮らしの循環」を育む場です。







お客様(来場者))

おうちの困りごとを、 顔が見えるプロに 直接相談できる安心。



言われる関係が、 地域に根づく。

を育む場

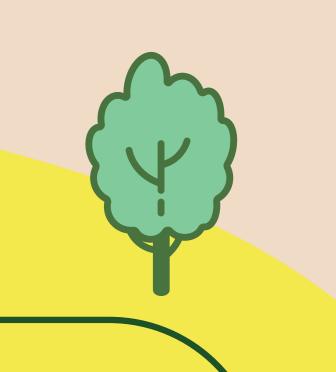
若者・子どもたち

"職人ってかっこいい"が、 未来の選択肢になる。



社会

「頼り合う関係性が、 暮らしの価値を 育てていく。」



(自治体・教育・まち)

人・技術・学びが つながり、地域に 循環が生まれる。

